



ニュースレター

2023年（令和5年）12月3日 グリーフワークかがわ広報部

【報告】放送大学関連インタビューについて

グリーフワークかがわ理事 杉山洋子

2023年11月13日（月）、放送大学客員教授の山崎浩司さん（静岡社会健康医学大学院大学，専門：死生学・社会学・質的研究）からご依頼があり、当法人の相談室にて取材をお受けしました。放送大学ラジオ科目として来年度から「グリーフサポートと死生学」を開講し、テーマの1つに「コミュニティに根ざしたグリーフサポート」を取り上げるため、放送教材作成のための取材を依頼されたもので、放送大学学園制作部プロデューサーの川口正さんとともに来高されました。当法人の出席者は、植松美幸副理事長と河合理事、村上理事と杉山でした。

山崎さんは、静岡で教壇に立つようになられた今も長野県松本市に足を運ばれて、ケア集団ハートビートの一員として地域のグリーフケア活動をしておられます。ケア集団ハートビートと当法人との繋がり、2014年に開催した交流会（*1）に遡ります。交流会は、ケア集団ハートビート代表の飯島恵道さんと山崎さんからのお声掛けにより実現したものでした。そして2016年には、当法人の認定NPO法人取得記念シンポジウム（*2）に飯島代表にご登壇いただきました。そうしたご縁から、今回の取材に繋がったものです。

今回の取材では、当法人の活動内容、活動の経緯、行政や民間の関係機関との連携・協働、直面している課題などについて質問を受けました。活動資金、香川県の地域の社会資源、教育機関での取り組み、宗教との関係、地域での認知度や香川県での報道機関などでの扱いなどもお話ししました。インタビュー後に、長野県での活動をお聴きし、地域に根差した活動を続けていくためにはその地域の文化、歴史の知識の学びを疎かにしてはならないとあらためて感じた幸いです。面積が狭い香川県でも、地域によって、伝統的な行動様式や習わしも違います。暮らしのなかのグリーフワークをテーマとして活動するためにまだまだ学ばなければならないことが多いことを感じます。

終了後にお話ししたなかで、「デスカフェ」についてお聴きできたのは幸いでした。デスカフェとは、スイスの社会学者ベルナール・クレタ氏が妻を亡くしたことをきっかけに始めた集会で、参加者は好きな飲食物をとりながら、死について語り合える場で、日本でも各地で開催されているそうです。プライバシーが守られ、互いに尊重し合い、死に関することを自由に語り合える場であり、そこでは、結論や行動を導き出すことを目的としないということも、安心して語り合える場になっている要因といえるでしょう。宗教や、年齢、性別、生活背景に関係なく、「死」について語り合える場は、死全般のノーマライゼーションを促進することになるそうです。山崎さんは、死別について気兼ねなくオープンに話し合える機

会が普通に存在するコミュニティの構築が必要であることを述べておられました。死別という困難な体験に直面しても、自分が暮らす地域で、死は人生の一部であるということが共有されることで孤独から救われる、このことは、私たちグリーフワークかがわの活動の目指すところでもあると思いました。

(*1) 2014年 ケア集団ハートビート交流会

(参照：<https://www.griefwork.jp/main/pdf/news125.pdf>)

(*2) 2016年 グリーフワークかがわ認定 NPO 法人取得記念シンポジウム

(参照：www.griefwork.jp/main/pdf/symposium.pdf)

www.griefwork.jp/main/pdf/symposium_houkoku.pdf)

◆2023年11月12日 第191回理事会◆

《審議事項》

第1号議案 上半期の会計に関する事項

事務局より、損益計算書及び、貸借対照表に基づき10月末現在の会計の報告が行われた。

第2号議案 認定カウンセラーからの相談に関する事項

認定カウンセラーから意見のあった件について、2～3名の理事と書記で改めて聞き取りを行い、審議内容の確認を行う。もし、提案日での日程で都合が悪ければ、再度日程調整を行うことで承認された。

第3号議案 事務局電話に関する事項

第190回理事会での継続審議であった事務局電話の担当者と機種変更については新しい端末への変更を行う予定とし、見積りの上来年度の予算に計上することで承認された。あわせて、コーディネーターが使用する電話についても検討することで承認された。

第4号議案 オンライン会議の設備に関する事項

第190回理事会の継続審議である相談室に設置するタブレットの購入について審議し、来年度の予算に計上することで承認された。

第5号議案「身近な人をなくした方のグループミーティング」記録用紙について

8月の認定カウンセラー研修及び、9月の第128回認定カウンセラー会議で検討を行い、記録様式(案)について審議し、承認された。この記録用紙を踏まえ、今後、マニュアルの作成も行っていく予定である。

第6号議案 放送大学関連インタビューに関する事項

10月17日に放送大学客員教員 山崎浩司氏より、前理事長に取材依頼があり、技術援助担当理事として先方と連絡調整を行った。11月13日に取材を受けること、当日複数の理事によって対応することについて審議し、承認された。

第7号議案 認定 NPO 法人運営と更新についての研修に関する事項

香川県男女参画・県民活動課の事業として開催される 11 月 18 日 NPO 法人説明会及び令和 5 年度 NPO マネジメント講座への参加は見送り、認定 NPO 法人の更新に係る現地指導(無料)で行うことで承認された。

第8号議案 2023 高松市男女共同参画市民フェスティバル パネル展出展に関する事項

出展準備とポスター原稿内容、報告書の作成について審議し、承認された。

第9号議案 木太小学校ゲートキーパー養成の講師派遣に関する事項

12 月 7 日(木)15:00～16:30 に予定されている香川県ゲートキーパー普及啓発事業(木太小学校)への講師派遣について審議し承認された。

第10号議案 技術援助事業ゲートキーパー養成の講師派遣に関する事項

精神保健福祉センターから坂出市職員を対象とする標記講座の講師派遣依頼があり、理事 2 名で対応することについて審議し、承認された。